

平成22年第2回日野町議会定例会（3日目）

平成22年3月18日 午前10時 開議

一般質問通告表

| 通告順 | 氏名   | 質問事項   |
|-----|------|--|
| 1   | 松本利秋 | <p>※「目標を持ったまちづくり」について</p> <p>1. 政治家としての信念とモラルについて<br/> 先の町長選挙に出馬される際、景山町長の二期目に賭けるマニフェスト（政治公約）がありませんでした。<br/> また、当選された後の新聞に「無投票では方針や考えを述べる場所がないので、いいことではない。」と話されていますが、これは矛盾した言葉ではないかと思えます。<br/> ①政治家たるものは、対抗馬がある無しにかかわらず、自分の考えや政策を打ち出して、町民の信を問うべきではないかと思えますが、この点は。</p> <p>2. 計画関係について<br/> 総合計画及び過疎計画（過疎地域自立促進特別措置法が6年間延長されることが、今の国会で決まるようであり、県の指導でいよいよ準備が始まったと思えます。）の取り組み状況と考え方をお伺いします。<br/> ①総合計画及び過疎計画のスケジュールと計画策定方法は。<br/> ②計画の柱「まちづくりの夢」と重点施策は。</p> <p>3. まち（地域）づくり交付金について<br/> 村が過疎と高齢化して元気がなくなっており、活性化を図る為に、この制度は画期的です。<br/> 自治会や地域がこの交付金を活用して元気になり、新たな地域づくりが生まれるものと期待します。<br/> ①交付金の具体的な内容は。<br/> ②高齢化等により、この交付金事業に取り組めない自治会等が出た場合、どう支援されるか。</p> <p>4. 保・小・中一貫教育について<br/> 今年度（昨年4月）から進められている小・中一貫教育の取り組みに保育所を加え、保・小・中学校の一貫教育で、特色ある幼少年期教育の教育が必要であると思えます。<br/> ①保・小・中一貫教育推進についてのお考えは。<br/> ②実現に向けて、検討される考えは。</p> <p>5. 高校の再編について<br/> 県下の高校入試志願状況が発表されたが、日野高校は他校と比較して低く、高校の再編で日野高校存続があやぶまれる状況になればしないかと懸念します。<br/> ①高校のある町として、本町の教育は勿論のこと、日野郡教育のあり方を早急に検討すべきではないか。</p> |

|   |      |   |
|---|------|---|
| 2 | 小谷博徳 | <p>※景山町政を検証</p> <p>景山町長1期目が終わり無投票で再選され、財政健全化に向けた2期目のスタートに当たり、10年は続くであろうと推計された赤字財政も2年目にしてクリアするものの、30%を越す公債比率は重くのしかかり、財政再建の中で余り金のかからない施策を着々と施行されたことは評価するものの、一般質問を中心とした町民の声に「検討をする・考えて見たい」という考えを示されている。この4年間の時の経過の中でどのような考えや検討がなされたのか、その後の経過の進捗をお聞きしたい。</p> <p>1. 高齢化に対処した施策を。</p> <p>① 投票所や基本検診場所の増加に対する考えはどうなっているか。</p> <p>② 町営バスの路線延長とデマンド化は。</p> <p>③ 超高齢化集落に担当職員の配置を。</p> <p>2. 職員の職務は生されているか。</p> <p>① 栄養職員の取り組み。</p> <p>② 小中学校の環境教育の実態は。</p> <p>③ 緊急雇用対策により採用した職員の能力を十分引き出しているか 交付金が切れた以後の考えは。</p> <p>3. 22年度予算について。</p> <p>① 第5次総合計画策定の基本的な考えは。</p> <p>② 日野町元気な町作り交付金の交付要件。</p> <p>4. 町民の声に対する取り組みは。</p> <p>① 漆原橋・近江橋の腐朽化防止対策は。</p> <p>② 日野町公民館の駐車場の水たまり対策は。</p> |
|---|------|---|

|   |      |  |
|---|------|--|
| 3 | 中原 明 | <p>※2期目の展望と、抱負について</p> <p>民主党は「地域主権改革は鳩山政権の一丁目一番地だ」とさまざまな仕掛けを打ち出した。</p> <p>「地域の事は地域で決める」自治体の裁量で用途が決められる「一括交付金」。法令で縛る「義務付け」の見直し等、地方責任を負う覚悟が必要と言われており、地域主権国家への転換であり、新しい発想と価値観が求められ力量が試される時代へと変革されるものと思われる。</p> <p>このような背景のもとで、2期目にあたり抱負を尋ねたい。</p> <p>①地方分権から、地域主権に移行されようとしているが、地域主権について、どう認識して再構築に取り組まれるか。</p> <p>②無投票が予測されていたとは言え、2期目へのマニフェストが発表されなかったが、町民は新聞報道のみでしか知ることが出来なかった。所信を公表すべきではなかったか。</p> <p>③2期目の取り組む柱は具体的に何か。</p> <p>④2013年には実質公債費比率が早期健全化基準を下回る試算であるが、健全財政基準は18%以下であり、道のりは遠く険しいのが実情である。職員の給与カットを解消するとあるが、健全財政基準18%以下への認識をどうお持ちですか。</p> <p>⑤住民の前に出て行き、自分の耳と口で意見を聞いて意志を伝えることが一番と表明されているが具体的な行動を示してください。</p> |
|---|------|--|

|   |      |   |
|---|------|---|
| 4 | 松原直人 | <p>※財政について</p> <p>1. 町の財政状況は、単年度も黒字化し、基金残高も4億6,982万円となり、状況が相当改善されつつあり、次のステップに来たと思います。</p> <p>①財政健全化基準の25%を下回るのは、推計では、平成25年度の予定ですが、目標達成のための歳出の基本方針は何か。</p> <p>※土砂災害について</p> <p>1. 土砂災害警戒情報について、急傾斜地の多い本町として、豪雨時の水害・土砂・流木（間伐材の放置）災害等が予想されます。今は、豪雨に対して予測が可能な時代となり、早めの対応も可能となっている。防災無線も時間雨量40mmの雨では聞こえない人もいる中、地域住民に情報の提供・伝達は必要である。</p> <p>①鳥取県の情報はあがるが、町自身の対応策を考え、適切な避難活動に繋げるべきではないかと思うが、どうか。</p> <p>②町として、日頃から地域自治活動を応援し、危機管理や防災対策の充実をお手伝いする姿勢が大事ではないか。</p> <p>※職員体制と研修について</p> <p>1. 健康福祉センターの職員体制について</p> <p>①職員採用で、一般職の採用が難しいため、専門職を採用し、一般事務にも対応させるとの事で確保され、体制を充実されましたが、現状と今後を問う。</p> <p>2. 職員の資質、能力、やる気をどのように高められるか。</p> <p>①各種研修の参加状況は。</p> <p>②以前に、職員を5班に分け、意見交換をされた結果を問う。</p> |
|---|------|---|

|   |      |  |
|---|------|--|
| 5 | 佐々木求 | <p>※介護保険について<br/> 国保会計が全国の自治体で破綻状況になっている。<br/> 住民負担も大変な中で介護保険制度も待機者が増える事態になりつつあるなかで、施設利用が保障されないと、家での健康状態の悪化につながり、結果として国保会計も大変になる。</p> <p>① 介護保険料の滞納状況と対策は。<br/> ②保険制度である限り、同じ認定、同じ希望があれば、同じサービスが受けられなければならない。施設利用状況、待機者数の状況を踏まえ、対策は。国保会計の資料では、病院利用者の重症化を示すものとなっている。例えば、日野病院の状況を見ると、ベッドも満床状況になっているが、このような現状の中、対策をどう考えられるか、今後の計画と体制を問う。</p> <p>※ 執行代制について<br/> 教育長を除けば、特別職は、町長1人体制が続いている。財政再建等課題が山積する中で、複数体制がとれていない状況は問題ではないか。</p> <p>①副町長を置かない条例は、「当分の間」となっているが、今後の4年間で展望するとき必要と考えるが、今後も今のままの体制でいかれるのか。</p> |
| 6 | 竹永明文 | <p>※施政方針について<br/> 財政難の中での町づくりについて</p> <p>①今日の日野町の財政状況をどのように思うか。<br/> ②CATV・イントラネット整備について、現在までの検討状況と今後の見通しについて。<br/> ③若者が定住できる環境づくりとは。<br/> ④少子化対策についての具体的な考えは。</p>   |